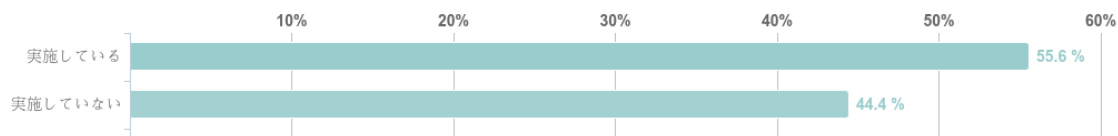


2026 年 6 月アンケート(2026 年6月 1 日～6月30日実施)

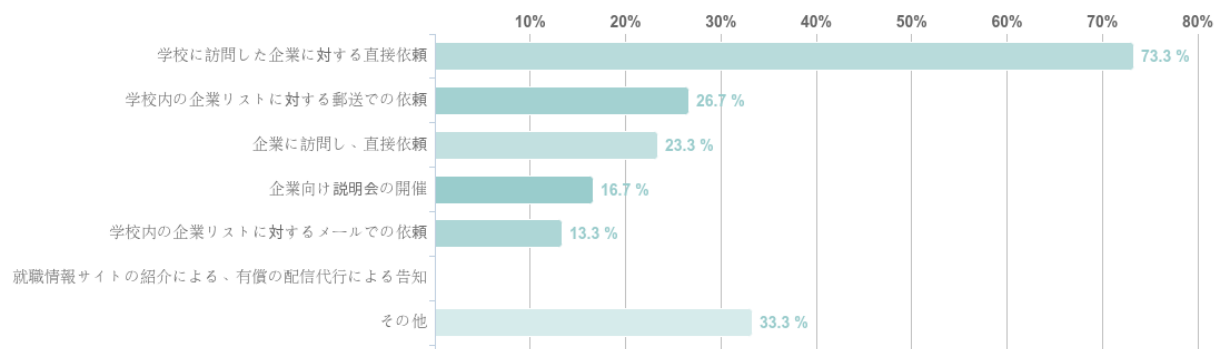
企業からの情報収集に関する課題アンケート

「企業対応」は、キャリア支援を行う上で「学生対応」とあわせて「両輪」と称されることが多くありますが、実態として、やはり学生対応にかかる比重の方が大きくなっているのではないのでしょうか。では実際に、各学校様ではどのように企業と向き合い、情報収集をおこなっているのか？今回のアンケートでは、そこにある課題等についてご意見をお聞かせいただきました。当月も多くの学校様にご協力いただき誠にありがとうございました。

Q. 採用関連情報の受け取りを目的とした企業向け広報について



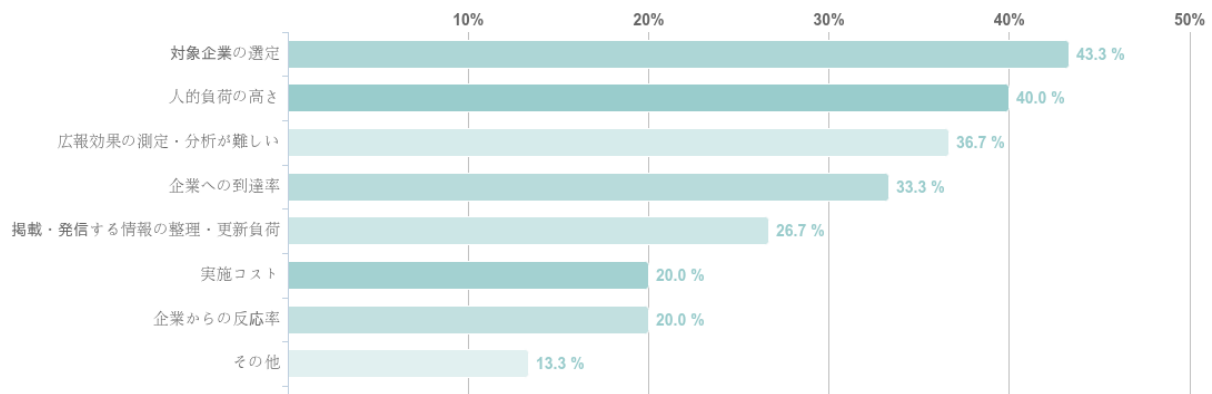
Q. 行っている広報活動について



<サマリー>

何らかの企業向け広報を実施している学校様はおよそ 6 割。実際に行っている広報活動としては、「学校に訪問した企業に対する直接依頼」が 73.3%で最多となりました。次いで、「学内の企業リストに対する郵送での依頼」が 26.7%、「企業に訪問し、直接依頼」が 23.3%。動く必要性は承知していても、積極的に打って出ることの難しさが垣間見える結果となりました。

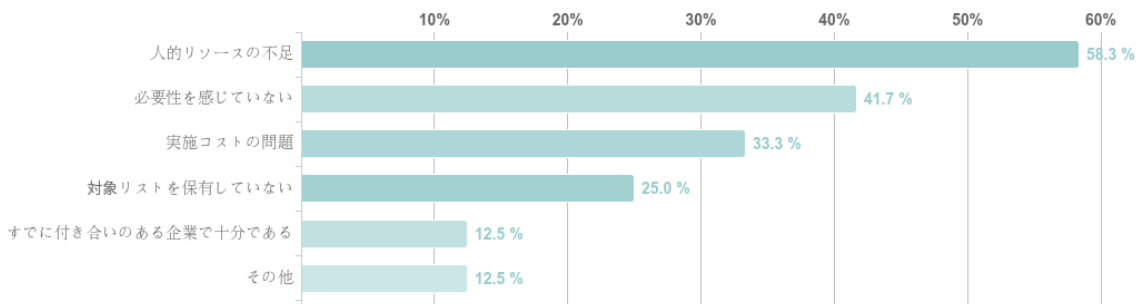
Q. 企業広報を行う上での貴学の課題について



<サマリー>

現場で感じられている企業広報の難しさについては、「対象企業の選定」と「人的負荷の高さ」がいずれも4割を超えました。これらのハードルを越えた先でも、「広報効果の測定・分析が難しい」「企業への到達率」といった目に見えない壁に対して課題感を持たれている学校様が多いようです。

Q. 企業広報活動を行っていない理由について



<サマリー>

企業広報活動を行っていない学校様に、その理由をお伺いしたところ、「人的リソースの不足」を挙げられた学校様が6割近くに達しました。「実施コストの問題」も3分の1の学校様が選択されており、こうした止むを得ない事情により、一步を踏み出せないという現実が浮き彫りになりました。一方で、「必要性を感じていない」(41.7%)や「すでに付き合いのある企業で十分である」(12.5%)という声も少なくなく、同じ企業広報を行っていない学校様でも二極化傾向があるようです。

ご利用校様の声ピックアップ

当月寄せられたお客様の声をいくつかご紹介します。

機能改修等へのヒントとなりますので、ぜひ毎月のアンケートで皆様の声をお聞かせください。

<企業との情報共有・広報活動に関して提供してほしい機能・ツール・サポート等>

- ・臨床研修病院など医療機関への広報活動を増やしてほしい。企業内で特定の部署の求人しかない場合があり、もったいない。例)病院の事務職の求人はあるが、看護師・コメディカルの求人を入力してもらえてない。(関東／国立大学)
- ・訪問アポイント受付機能があると良いのではないか。(関東／国立大学)
- ・大学から連絡する際のメールアドレスを企業情報画面の項目に追加してほしい。メッセージやリクエスト機能で伝えたいが、つながるための何か別の方法としてあると嬉しい。(関東／私立大学)
- ・求人票の有効期限が切れるタイミングで、自動で更新依頼がかかる機能があるとよい。(関東／私立大学)
- ・現状のエントリー機能にとどまらずポートフォリオ(履修データや履歴書)を大学が承諾した企業が閲覧しオファーを出せるような仕組みがあってもよい。(中国／私立大学)

※過去の月次アンケート結果レポートはこちらから参照いただけます。

<https://support-uni.uc.career-tasu.jp/hc/ja/articles/14884930821135>